

令和4年度 1人1台端末の活用による実践事例

学 校 名		岡山県立井原高等学校		
実践者等		井谷 勇哉	実践日	令和4年11月1日
実践場面 (教科・科目(単元名)、学校行事等)		地理歴史・地理総合(生活文化の多様性と国際理解)		
対象生徒(学年等)		普通科1年		
育成を目指す資質・能力		☐ 知識・技能 ☒ 思考力・判断力・表現力等 ☐ 学びに向かう力・人間性等		
分類	授 業 中	☐ クラウドやアプリの活用 ☒ デジタルデータの保存 ☒ 思考やデータの可視化		
		☐ データの共有や共同編集 ☐ 対話を充実させる活用 ☐ 思考を促す活用		
		☐ 表現を充実させる活用 ☒ 課題のやり取りと評価の支援 ☒ 効率化や省力化		
		☐ その他()		
	家庭学習	☒ 振り返り ☒ 探究 ☐ 反転学習 ☒ 補習・定着		

実践の内容

【授業】学習課題「イスラームを信仰する人々と共生するために必要なことは何か」
Google Classroomで課題を投稿し、ドキュメントに以下の項目について記述させる。

- (1) イスラームに対する第一印象
- (2) 学習課題について意見を述べる
- (3) 授業を受けた後、改めて学習課題についての意見を述べる
- (4) 授業前後で自身の見方・考え方が変化した部分について述べる

【授業後】生徒が提出したドキュメントについて評価を行う。

- ・ 生徒の記述内容から「思考・判断・表現」の観点について評価を行う。
- ・ 提出されたドキュメントに必要な応じてコメントを付けて返却を行う。

4 今日学習した内容、最後に観た動画、Classroomにある資料を踏まえ、改めて「2 イスラームを信仰する人々と共生するために必要なことは？」という問いに答えてみよう。 ムスリムの人たち意外にも他の信仰者とも共生できるような配慮が必要になってくる。最後の資料から女性の労働率が低いを知って、男性でも女性でも大きく変わったことはないから日本だったら国会議員の女性の割合を改善するだったり、サウジアラビアだったら労働率、国会議員も改善する必要があると思った。
5 今日の振り返り(授業前と授業後の変化について) 授業の最初とはガラッと変わり、知識がなかったっていうものあったが、アッラーの教えが非常に強い国だとわかった。最初は過激派組織しか浮かばなかったが、今では、信仰告白、一日後回の礼拝、断食、喜捨、巡礼があるので悪いところばかりではなくて良いところもたくさんある事がわかった。

限定公開のコメント

○男女平等の社会体制の実現について目をつけた所が良いと思います。しかし、個人の取り組みでは中々難しい点がある...個人としてはどんな取り組みができるだろう？

◎ニュースから得られる知識を表面的に受け取るのではなく、本質をしっかり読み取って学ぶことが共生するために必要なこと！

投稿

- ・ 生徒は「マイドライブ」の中にある「地理総合」のフォルダに返却されたドキュメントを保管する。

【単元の振り返り】

- ・ 保管したドキュメント等のファイルを見返し、「自分の見方・考え方がどのように変化したか」「疑問に思ったこと」「さらに深めたいと思ったこと」をまとめ、単元を終えて身につけた知識や見方・考え方を自己評価したドキュメントを提出させる。
- ・ 自己評価したドキュメントについて適宜コメントを付けて返却し、保管させる。

【本時と家庭学習との連動】

- ・ 上記の取組によって、自身の学びのポートフォリオが完成される。家庭学習時に、授業の際に自分がどのような考え方をしたのかを振り返ることができる。また、教師からのコメントを読み、「どの点が良かったのか」「どの点が自分の課題なのか」について把握することで、学習の効率化や意欲の向上を図ることができると思う。